

農地を守る

農地・水・環境保全向上対策事業の取り組み

自分たちの住む集落を守るため、農地を含めた環境を良くする活動が、農地・水・環境の事業をきっかけに各地で行われています。今回は、大安町の「高柳地区美土里農会」の活動を紹介します。

みどりのかい 高柳地区美土里農会(高柳地区)

コスモスの種まき

7月中旬に子ども会と老人会(高寿会)が、コスモスの種まきを行いました。地域全体では2~3年前から取り組んでいて、今年は1.2haほどをコスモス畑にしていますが、このうち0.4haを50人ほどの参加者が並んで手でまきました。

暑い中でしたが、子どもたちは秋のコスモス祭りを楽しみに、きれいに咲き乱れる花を期待して一生懸命まいていました。

きれいに咲きますように



昨年のコスモス



きれいな赤米

赤米づくり

5月には、営農組合で赤米の作付けが行われました。赤米は古代からのお米で、いなべ市でも奨励しているものです。秋の収穫時期には、田一面が赤く染まり、きれいな景観ができあがります。今年は、2.4haほどを作付けし、収穫を楽しみにしています。



他の地区より1年遅れて、今年からこの事業に取り組んでいます。5月の自治会全体が出る集落の一斉清掃や、7月の農家組合が主体となって行う農道等の草刈り作業など、以前から行っていた活動も含め、地域の環境と活性化のために、活発な活動を計画していきたいと考えています。

問 藤原庁舎 農村整備課 T 46-6304 F 46-6319

編集後記

「スポーツの秋」「読書の秋」など秋はさまざまな枕詞が付きませんが、私はずばり「食欲の秋」です。「年中食欲の秋やんかー」とあちこちから聞こえてきそうですが...

さて、今回の特集には「朝ごはん」は「学習意欲」「疲れ感」「前向きさ」にまで影響してくるという市内小学校でのアンケート結果が出ていました。ただ、朝ごはんを食べれば頭がよくなるということではなく、「バランス」が大切なのであって、「早寝早起き朝ご飯」がそのバランスをよくすることなのでしょうね。

朝ごはんをゆっくり味わえるよう、早く寝て、早く起きるという習慣をつけたいものですね。

いなべいきいきマイタウン

▶これから出会う仲間に元気を与えたい!

少年の主張 優秀賞受賞 新美友紀さん(藤原中学校3年)

8月下旬に行われた「第30回少年の主張三重県大会」(県内78中学校から1万634人が応募、選考会を経て14人が選ばれた)に出場した新美さん。多くの聴衆の前で堂々と自分の思いを熱く語りかけるこの大会で見事、優秀賞に選ばれました。中学生活で日ごろ感じていることや、求めていることを熱いメッセージとして原稿用紙にまとめたもので、新美さんは「私って不幸なの?」というタイトルで応募しました。「両親と一緒にいることができなくても、何でも相談できる仲間がいるから辛いことでも乗り越えられた。どんな人でもどんなことがあっても自分の気持ち次第で誰でも幸せになれるということをみんなに伝えることができてよかった」と受賞の喜びを話してくれた新美さん。これからもこの気持ちを忘れずに素敵な笑顔を私たちに見せてくださいね!おめでとうございます。



情報提供: 広報秘書課



生活情報「まいめる」QRコード



モバイルサイトQRコード



いなべ市ホームページ(携帯電話用)QRコード

記事にあるQRコードは一部の携帯電話でご利用になれない場合があります。

発行/〒511-0293 いなべ市員弁町笠田新田111番地 T 0594-74-5820 F 0594-74-5821
編集/企画部 広報秘書課 <http://www.city.inabe.mie.jp/>
平成20年10月1日発行 Vol.59

古紙配合率100%再生紙を使用

R100